

自然、地域と共生する 企業をめざして

東日本大震災において亡くなられた方々、被害にあわれた方々、ご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

リーマンショック以降、政治、経済、社会が混乱し先の読めない難しい状況が続いています。当社では懸案の品質に関しては、「品質は経営そのもの」という信念のもとに、やるべきことを一つひとつ着実に進めてきております。「重大不具合の未然防止」活動を全社で展開し品質のレベルアップを図り、将来に向けた新製品開発・生技開発に取り組んでいます。環境活動・社会活動においても、夏の猛暑、新燃岳の噴火、スマトラ島沖地震・ニュージーランド・日本の震災といった自然災害が多発し、浜岡原発が停止し電力需給バランスが崩れるといった私たちを取り巻く情勢も大きく変化する中、当社の経営理念である自然・地域と共生する企業をめざした取り組みを引き続き進めております。

工場から排出されるCO₂排出量に関しては、夏の記録的猛暑や東海理化発祥の地、西枇杷島工場の本社工場への統合といった変化があった中、非稼働時エネルギーの低減や無駄なエネルギーの排除といった地道な活動を全社一丸となって取り組んでいます。

また、愛知県名古屋市で開催されたCOP10（生物多様性条約第10回締約国会議）に合わせて、生物多様性という

テーマについても取り組みました。社員のみなさんに知って頂くことを目的に、生物多様性ニュースの発行や竹林の間伐及び整備活動を実施しました。今後も豊かな地域づくりに貢献すべく東海理化らしい活動を進めていきます。

社会貢献活動では、愛知駅伝への協賛やボランティア活動の支援など国内での活動を行い、海外では救援衣料回収活動の全社展開、ポリオワクチンの海外寄付活動につながるエコキャップ運動など、活動の継続と拡大を進めています。

さて、本年度の報告書では特集として、2011年度から2015年度までの期間、東海理化グループとして環境活動を進めていく方向性を示した『第5次環境取り組みプラン』を掲載させていただいています。低炭素社会、循環型社会、環境保全と自然共生社会の構築、環境経営の4項目を軸に活動を進めてまいります。

近年、政治、経済、社会が混乱の様相を呈し、自動車業界の不透明感が強まりつつある中、今一度経営理念にある「自然・地域との共生」について考え、東海理化社員全員で「良いこと」をやり、より「良い会社」となり、「良い社会」づくりへ貢献できるよう努力をしておりますので、皆様の一層のご支援と忌憚のないご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

株式会社東海理化
取締役社長



経営理念

1. お客様に喜ばれる商品を創造し、豊かな社会づくりに貢献する
2. 個性とチャレンジ精神を尊重し、若さと夢あふれた企業をめざす
3. 社会の一員として、法と倫理を遵守し自然・地域と共生する企業をめざす



編集方針

「第4次中長期環境取り組みプラン」の最終年度である2010年度の報告書として、これまでの環境活動の成果を示すとともに、初回以来の編集方針である「わかりやすく読みやすい報告書」はこれまで通り継承し、広く一般の方にもご理解いただけるよう作成しました。

また「第5次中長期環境取り組みプラン」の策定を社内外に広く示すために、その内容を紹介する特集ページを設けるほか、ページ構成や編集内容についても、新しい計画に準じた変更をしました。

●報告期間

本報告書は、東海理化における2010年度(2010年4月1日～2011年3月31日)の活動実績をもとに作成しています。活動の理解を深めるものとして、2011年4月以降のデータや情報、活動計画も一部記載しています。

●参考とするガイドライン

本報告書は環境省やGRI(Global Reporting Initiative)などの各種ガイドラインの考え方を参考に編集・作成しています。

●報告書の対象範囲

本報告書では株式会社東海理化の取り組みを報告しています。一部、国内外の子会社・関連会社を含めた「東海理化グループ」の活動も含まれます。

●次回の発行予定

本報告書は毎年3月末に環境パフォーマンスの実績を集約・解析したものです。次回は2012年6月の発行を予定しています。

環境・社会報告書は4つのツールで構成されています。

環境・社会報告書 2011 ▶ 2010年度の環境・社会性の活動を詳しくご紹介している年次報告書です

ダイジェスト版 ▶ 東海理化の環境・社会性の取り組みをわかりやすくご紹介している情報の入り口です

エコデータファイル 2011 ▶ 環境に関わるより詳しいデータ資料をご紹介します

ホームページ ▶ <http://www.tokai-rika.co.jp/>
東海理化の事業活動から製品情報、過去の環境活動、IR活動(経済性報告)などを紹介しています

本年度の改善点

- ・編集方法を「第5次中長期環境取り組みプラン」の項目に準じた表記と内容に変更しました。
- ・取組事例の実施場所を明確にするために、工場名を記したアイコンを掲示しました。
- ・社会貢献のページを増やし、より活動の様子が分かりやすくなるように配慮しました。

■発行・環境活動に関するお問い合わせ

株式会社東海理化 施設環境部
〒480-0195
愛知県丹羽郡大口町豊田三丁目260番地
TEL(0587)95-9002 FAX(0587)95-1261
URL <http://www.tokai-rika.co.jp/>

目次

社長あいさつ	1
編集方針・目次	2
東海理化プロフィール	3

環境報告

5

●環境マネジメントシステム

客観性の高いマネジメントシステムの運用	5
---------------------	---

特集1 第5次 中長期環境取り組みプラン

●環境活動概要

2010年度環境活動概要	9
--------------	---

●製品での環境配慮

環境負荷の少ない製品づくりを推進	11
------------------	----

特集2 「からくり改善」で、 創意工夫を活かしたモノづくり

●低炭素社会の構築

全社的な取り組みで温室効果ガスの排出を低減	15
-----------------------	----

●循環型社会の構築

「分ける・減らす」で資源循環システム構築を推進	17
-------------------------	----

●環境保全と自然共生社会の構築

環境負荷の低減を目指したモノづくりの推進	19
----------------------	----

●環境経営

東海理化グループのグローバル環境活動	21
社員・地域社会との環境コミュニケーションの充実	23

●環境活動データ

環境会計	25
各工場での取り組み	26

社会性報告

27

●社会との関わり

地域貢献活動と社員ボランティア活動の推進	27
----------------------	----

●お客様との関わり

お客様の満足・品質の追求	31
--------------	----

●仕入先様との関わり

仕入先様との協力体制の構築	32
---------------	----

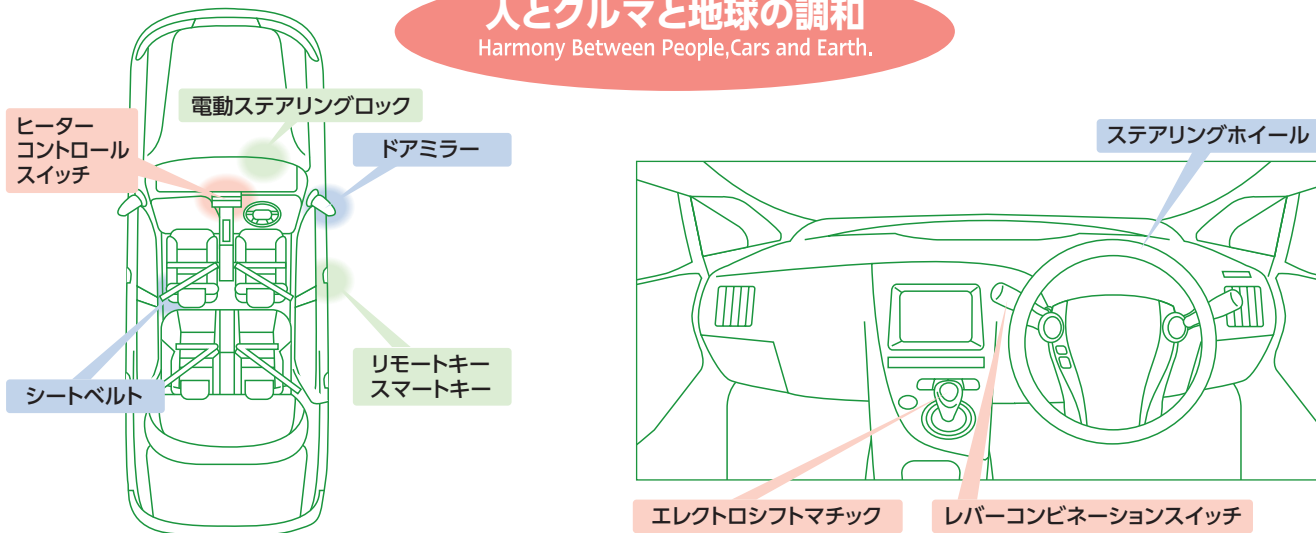
●社員との関わり

人材育成・労働安全への取り組み	33
-----------------	----

当社では、人の意思を車に伝えるヒューマン・インターフェイス部品をはじめ、
 車を守るセキュリティ部品、生命を守るセイフティ部品など、
 人と車のよりよいコミュニケーションをつくりだす製品の製造・販売を通じて、車のある豊かな社会作りに貢献しています。

人とクルマと地球の調和

Harmony Between People, Cars and Earth.



ヒューマン・インターフェイスシステム



レバーコンビネーションスイッチ

エレクトロシフトマチック



ヒーターコントロールスイッチ

セキュリティシステム

リモートキー & レシーバー



スマートキー携帯機



電動ステアリングロック

セイフティシステム



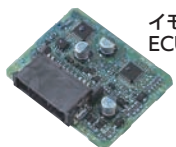
プリクラッシュ対応機能付きシートベルト

ステアリングホイール ※

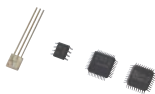


ターンランプ・足元照明付ドアミラー

エレクトロニクス



イモビライザー ECU



カスタムIC



電気自動車モーター用回転センサー

装飾品



LEXUS

オーナメント



フルホイールキャップ

住宅用機器



玄関用イモビライザーシステム「ラ・ロック」



窓施錠モニター

※ステアリング事業は豊田合成㈱と協業しています。